

森脇成典 (メモ)

黒田和明 (監修)

日時：2009年4月6日13:30-14:30

場所：東大宇宙線研究所大セミナー室+TV会議 (天文台、京都大、KEK、東大理) +Skype

参加：(敬称略) 中谷, 大橋, 三代木, 宮川, 石塚, 我妻, 齋藤陽, 高橋, 寺田, 三尾, 森脇, 大前, 黒田 (宇宙線研会議室), 川村, 辰巳, 新井, 佐藤修一, 阪田 (天文台会議室), 坪野, 高橋 (走), 穀山, 岡田 (M2), 松本 (M1) (東大理会議室), 鈴木 (KEK 会議室), 中村, 安東 (京大研究室), 神田 (阪市立大研究室), 内山 (CLIO サイト), 麻生 (Caltech)

o 概算要求申請近況 (黒田)

- LCGT 計画のパンフレットの新版を作成中.
- 10-20 ページの説明書類を作成中.
- LCGT 三者協議会を作る. 来週 16 日に会合予定.
ICRR, NAOJ, KEK の長と, 重力波研究の代表者が参加.
追加の議事があれば黒田まで.

o 真空系報告 (高橋)

現地溶接作業を必要としない 12m フランジ付きダクトでコストを含め仕様を詰めている.
(ϕ 1000 フランジ, 外直径 1080)
運搬方法, アラインメント, リークテストを含めて検討中.
現場でのベーキングはやらない (工場でのベーキングはあり). 材質 Ti は今は考えていない.

o 3ヶ月 study の報告 (三代木)

LCGT に向けた TAMA と CLIO での研究開発項目について、昨年 12 月から、現場スタッフにより検討. まとめた文章は Wiki 参照.

LCGT のみが必要とする低温・サファイヤ鏡・SPI の 3 つが最優先. これを踏まえた上で,

- CLIO は低温で感度を出す
- TAMA は SPI, SAS, サファイヤ懸架, 熱レンズ補償, RSE, ...
- Cryo-SAS のプロトタイプを CLIO, TAMA 以外で作る

[中谷コメント: 来週の三者会議で, マンパワーは確保できていないが, 要望として出せるのではないかな]

[辰巳コメント: マネジメント側への要求として, LCGT 組織の中での TAMA, CLIO の位置づけを明確にして欲しい]

○ 組織表について (黒田)

Wiki に新組織表を置いた.

PM と作業班 (タスクリーダー) との間にコーディネータを新設.

タスクリーダーは, タスクのまとめの責任と権限をもつ.

[中谷コメント: コーディネータはタスク間のコミュニケーションをとる役割を持ち, セクショナリズムを防止し, 見落としタスクをなくす]

[大橋コメント: 現時点で一部タスクに人的リソースの空白があるが, コーディネータはこれを埋める責任を負う.]

○ 神岡入坑について (大橋)

今年度入坑する予定の研究者は, 年度初めに ICRR の Web で研究者登録の更新をする必要がある. 大橋まで連絡のこと. 入坑前に安全教育を受ける必要あり. 我々のグループ内では, 内山氏が教育係として認定されており彼の講習を受ければ OK.

安全マニュアルも入手可能. 9月等でも研究者登録は可能だが, 年度初めの4月に済ませるのが望ましい.

○ LCGT のデジタル制御 (宮川)

LIGO から CLIO 用のデジタル制御系を調達した経緯から外挿して見積もると, 約 \$180k (約 2000 万円). 内訳は Wiki 文章参照.

たたき台として欲しい. ソフトウェアは市販のものではなく LIGO グループの開発品. 汎用.

○ 次回 4月 20日 13:30 より